

2.3Ⅱ8P 防水ジョイントコネクタ
取扱説明書

Handlling Manual
For
2.3Ⅱ 8P Sealed Joint Connector

注)

本取扱説明書は、発行先に対し連絡無しに
改訂する場合がありますのでご了承下さい。

矢崎総業株式会社

矢崎部品株式会社

制定年月日 2014年07月11日

本説明書は、本製品をご使用頂く上で最低限必要な項目を記載したものです。
 取扱の際には、本記載内容を遵守下さい。
 弊社は本内容を遵守しないで起こった損害または誤使用により起こった損害に
 対しては責任を負いません。

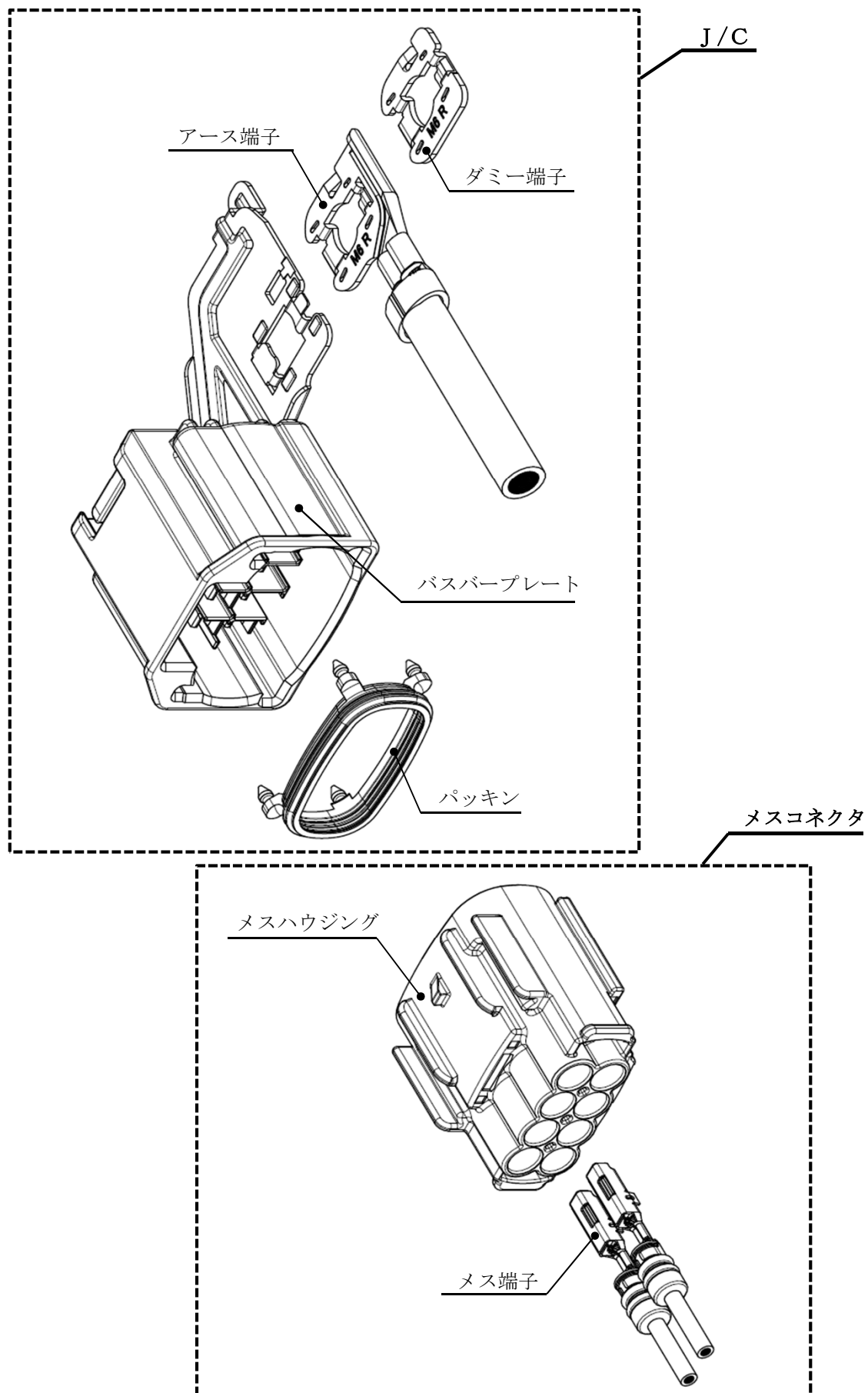
目 次

1. 構成部品と各部名称及び機能の概要	P. 2
1-1. コネクタ構成部品	
1-2. メス端子	
1-3. メスハウジング	
1-4. 防水栓	
1-5. バスバープレート	
2. 各部品の取扱いについて	P. 7
2-1. 受入検査時の検査項目	
2-2. 部品の運搬、保管及び取扱い注意事項	
3. 端子圧着仕様	P. 9
3-3. 圧着規格	
3-2. クリンプハイト及びクリンプワイドの測定器と測定方法	
3-3. 端子圧着時の注意事項とチェック項目	
4. 端子圧着済品の取扱い	P.15
5. 端子の組付け	P.16
5-1. メス端子組付け	
6. ワイヤハーネス組み立て	P.17
6-1. 端子未挿入検知	
6-2. ワイヤハーネス組み立て時の注意事項	
7. 端子の取外し	P.18
7-1. 端子抜き治具	
7-2. メス端子取外し	
8. コネクタのかん合・離脱	P.21
8-1. コネクタのかん合	
8-2. コネクタの離脱	
9. ワイヤハーネス梱包時の注意事項	P.22
10. ボディとの組付け	P.24
10-1. ボディとの組付け	
10-2. 推奨ネジ及び締めトルク値	
◎ 構成部品一覧表	別紙 1 ～5

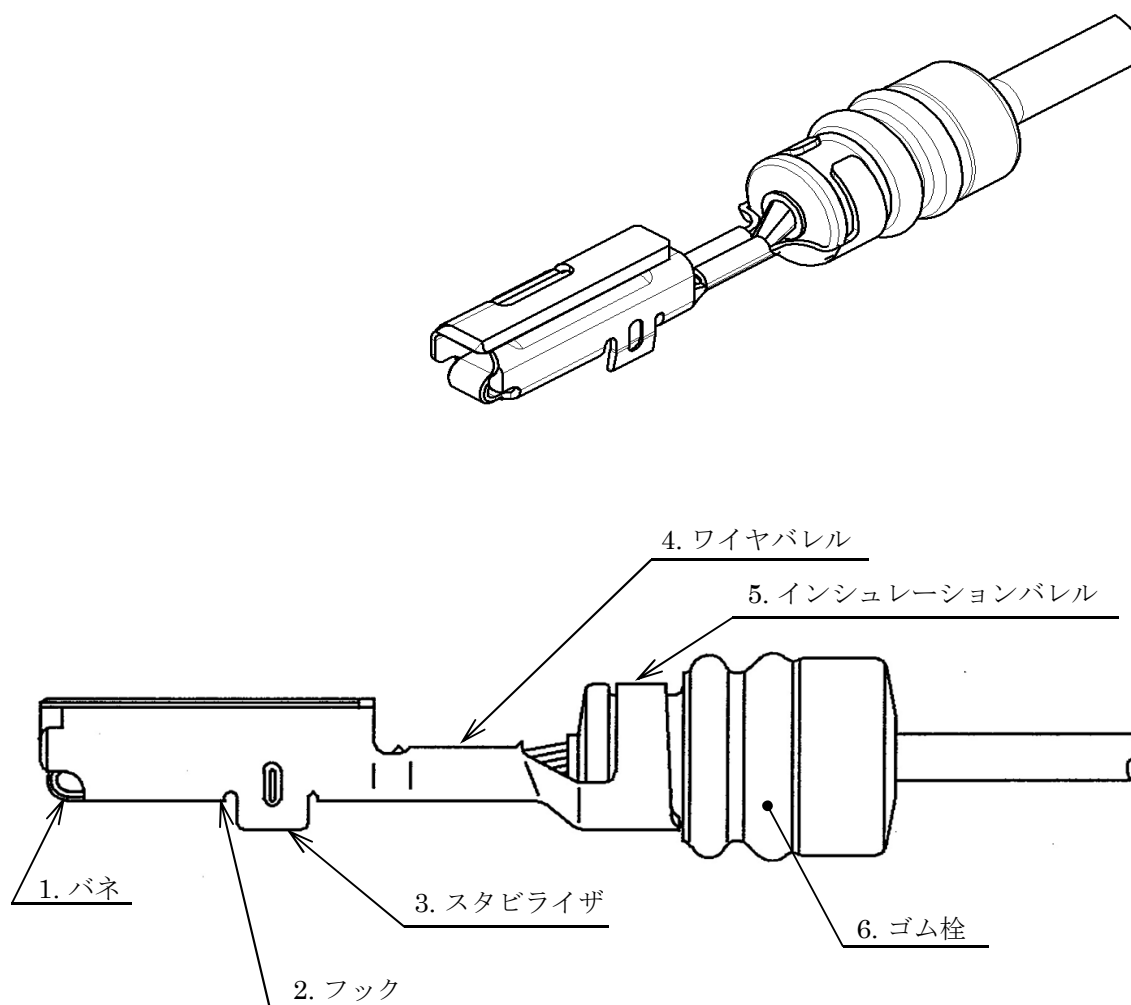
※本部品に使用するアース端子の取扱い方法については、
 [組み合わせアース端子 取扱説明書](矢崎管理No.YPES-15-218)を参照して下さい。

1. 構成部品と各部名称及び機能の概要

1-1. コネクタ構成部品

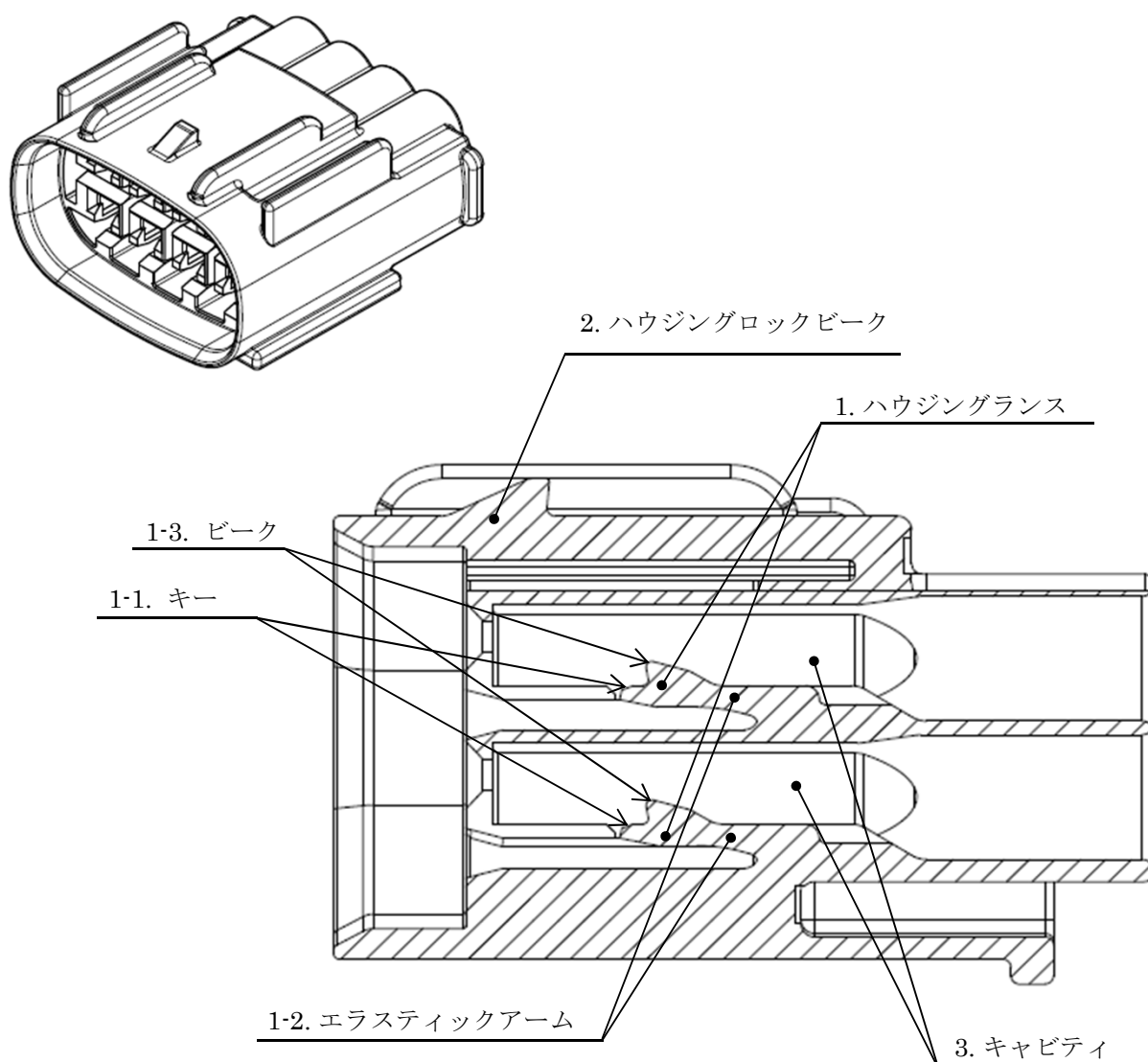


1-2. メス端子



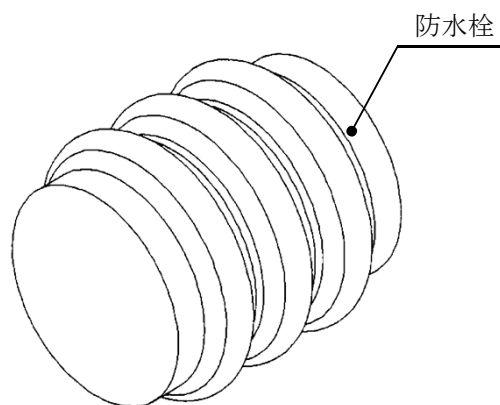
NO.	名 称	機 能
1	バネ	オス端子との接触
2	フック	ハウジングとの係止
3	スタビライザ	逆挿入防止
4	ワイヤバレル	芯線圧着
5	インシュレーションバレル	絶縁体圧着
6	ゴム栓	電線とハウジング間の防水

1-3. メスハウジング



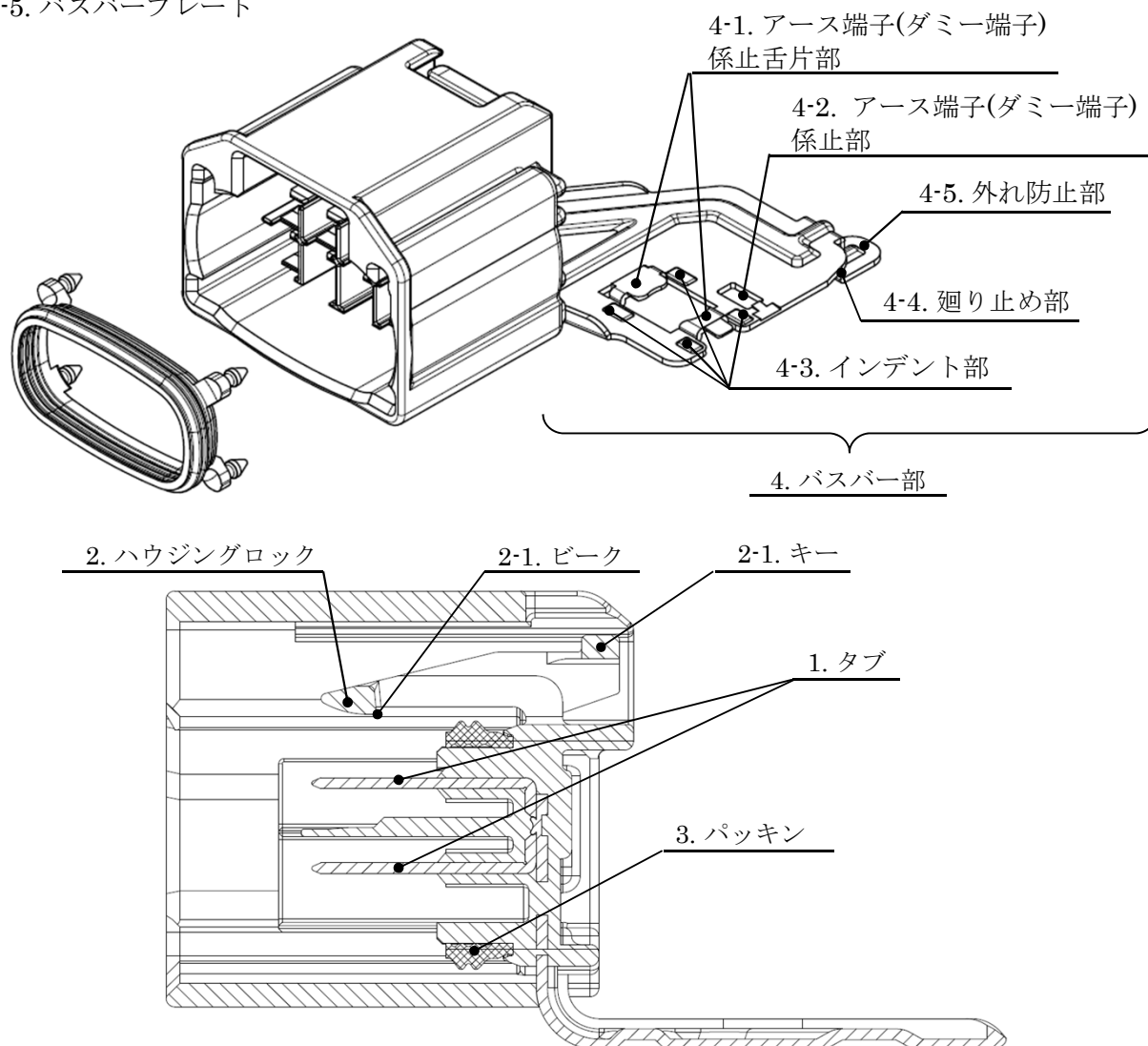
NO.	名 称			機 能
1	メスハウジング	1-1	キー	ハウジングランスの解除操作
		1-2	エラスティックアーム	ビーク保持
		1-3	ビーク	メス端子との係止
2	ハウジングロックビーク			オスハウジングとの係止
3	キャビティ			端子収容部

1-4. 防水栓



名 称	機 能
防水栓	ハウジング後部の防水

1-5. バスバープレート



NO.	名 称			機 能
1	タブ			メス端子との接触
2	ハウジングロック	2-1	ビーク	オスハウジングとの係止
		2-2	キー	ハウジングロックの解除操作
3	パッキン			オス・メスハウジング間の防水
4	バスバープレート	4-1	アース端子(ダミー端子)係止舌片部	アース端子(ダミー端子)の係止位置決め
		4-2	アース端子(ダミー端子)係止部	アース端子(ダミー端子)との係止
		4-3	インデント部	アース端子(ダミー端子)との接触
		4-4	廻り止め部	バスバープレート締付け時の廻り止め
		4-5	外れ防止部	バスバープレート締付け時の外れ防止

2. 各部品の取扱いについて

2-1. 受入検査時の検査項目

部品受入時には、下記項目について検査を行って下さい。

1) 端子

- ・異物、異品の混入
- ・バリ、クラック、変形、傷
- ・変色、錆、汚れ、めっき剥がれ

2) ゴム栓、防水栓、メスハウジング（パッキンを含む）

- ・異物、異品の混入、付着
- ・バリ、ヒケ、ダレ、欠け、クラック、ショートショット、変形、傷
- ・各部品の外れ、脱落（パッキン）

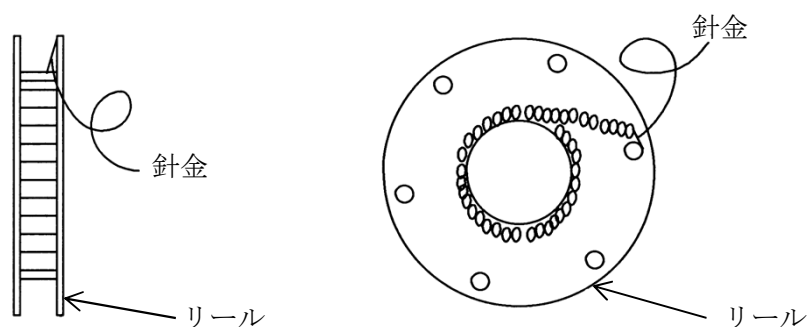
2-2. 部品の運搬、保管及び取扱い注意事項

変形や損傷を防ぐ為に、各部品の運搬・保管には次の内容を推奨します。

また、組立て工程等での製品使用環境・組付け条件の下での安全な取扱いにつきましては、適時弊社担当に問い合わせ下さい。

1) 端子

端子は、リールからのほつれを防ぐため、針金などでしっかりとリールに固定して下さい。運搬・保管は、下記の方法で行って下さい。



良い例	悪い例
2段積みまでとして下さい。	(無保護状態での保管)

運搬について

- ・ リールは紙製なので、破損しないように注意して下さい。
- ・ 運搬時の衝撃を避けるため、梱包（保護）して下さい。
梱包時には、部品が変形や損傷を受けることがないように十分注意して下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

保管について

- ・ 端子（リール）は、運搬時に使用する梱包箱に入れて保管して下さい。
特に水、埃、油、有毒ガスから保護して、無保護状態で保管しないで下さい。
- ・ 端子（リール）は、直射日光を避け、室内で保管して下さい。
- ・ 端子（リール）は、高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
(5～35℃、45～85%RHの環境下に保管願います。)

- 2) ゴム栓、防水栓、メスハウジング（パッキンを含む）、バスバープレート
変形や破損を防ぐ為に、各部品の運搬・保管には次の内容を推奨します。
また、パッキンにはシリコンオイルが浸潤させております。
故意にふき取ったりしないで下さい。（傷つきの原因になります）

運搬について

- ・ 運搬時の衝撃を避けるため、梱包（保護）して下さい。
梱包時には、部品が変形や損傷を受けることがないように十分注意して下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

保管について

- ・ 部品は、運搬時に使用する梱包箱に入れて保管して下さい。
特に水、埃、油、有毒ガスから保護して、無保護状態で保管しないで下さい。
- ・ 部品は、直射日光を避け、室内で保管して下さい。
- ・ 部品は、空气中常温(5～35℃、45～85%RH)で清潔な場所に保管して下さい。
(高温多湿の場所を避けて下さい。)
- ・ 保管中は外部から力が加わらない様にして下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

3. 端子圧着仕様

3-1. 圧着規格

圧着規格については、適時弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

<注記>

- ・圧着の際は、必ず規格内で圧着して下さい。規格外の場合、加締部の固着力・電気抵抗が維持できず、製品の機能に支障をきたす恐れがあります。
- ・本内容については、弊社の圧着型を使用した場合に限りです。

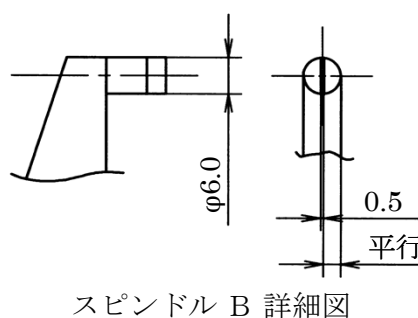
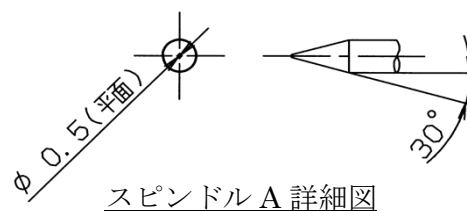
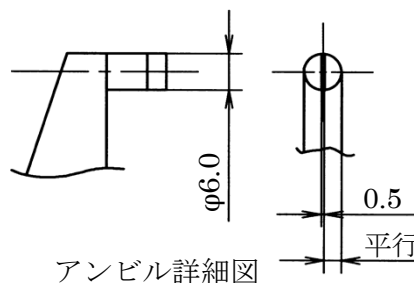
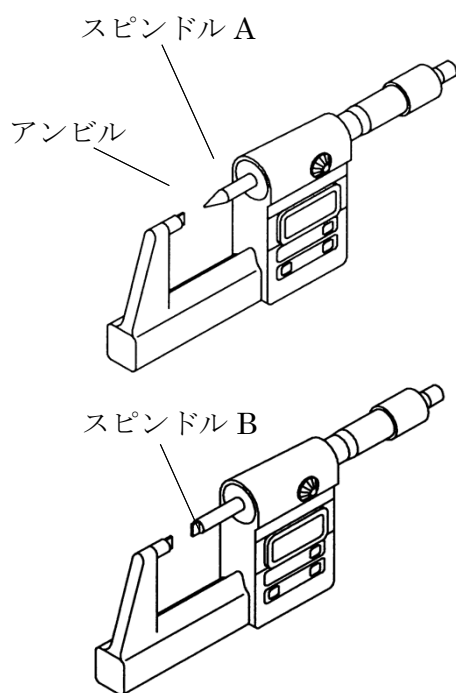
3-2. クリンプハイト及びクリンプワイドの測定器と測定方法

3-2-1. 測定器

マイクロメータを使用して測定して下さい。

マイクロメータは、下記仕様のアンビル、及びスピンドルを使用して下さい。

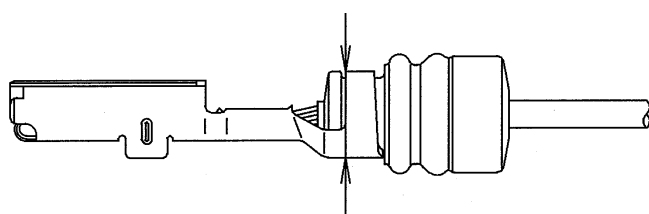
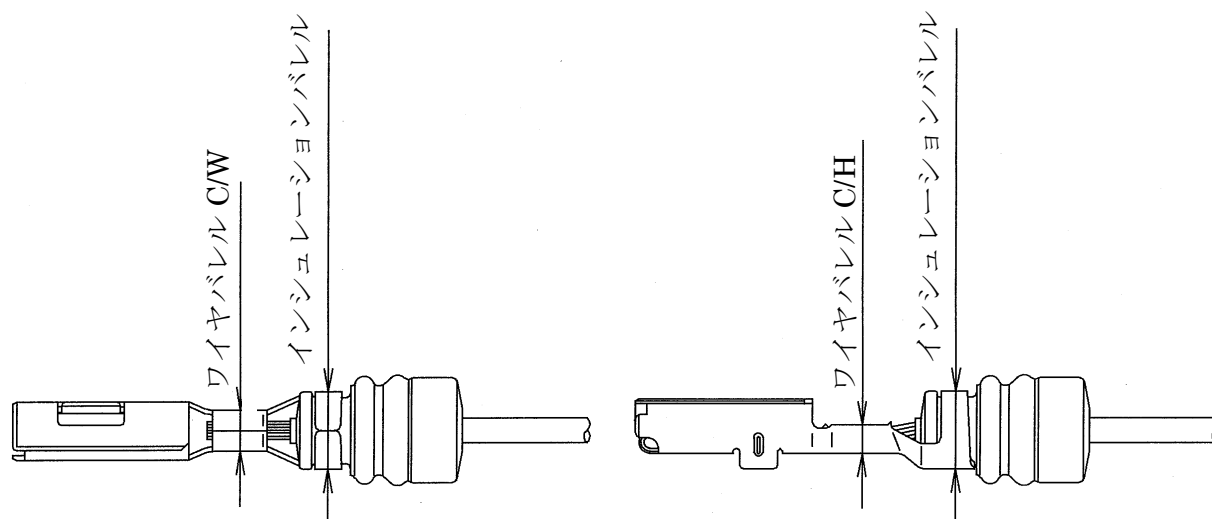
マイクロメータは、スタンドに固定して使用して下さい。



測定箇所	使用部品
ワイヤバレル クリンプハイト	スピンドル A
ワイヤバレル クリンプワイド	スピンドル B
インシュレーション クリンプハイト	
インシュレーション クリンプワイド	

3-2-2. 測定方法

芯線圧着部及び絶縁体圧着部の寸法は、それぞれの圧着部中央を測定して下さい。

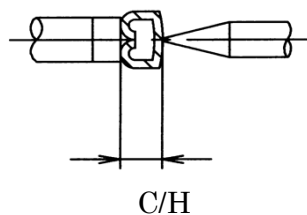
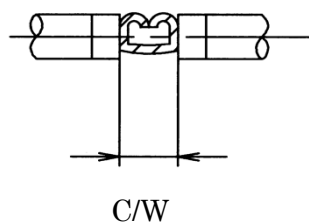


C/H: クrimpハイト
C/W: クrimpワイド

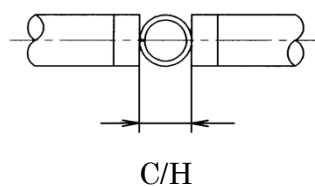
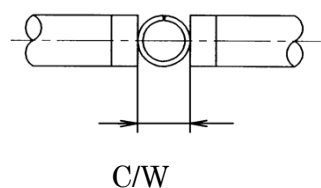
<注意事項>

C/Hは、この地点では測定しないで下さい。
(段差のある部分では測定しないで下さい。)

ワイヤバレル：マイクロメータを用いて、下図のように挟んで測定して下さい。

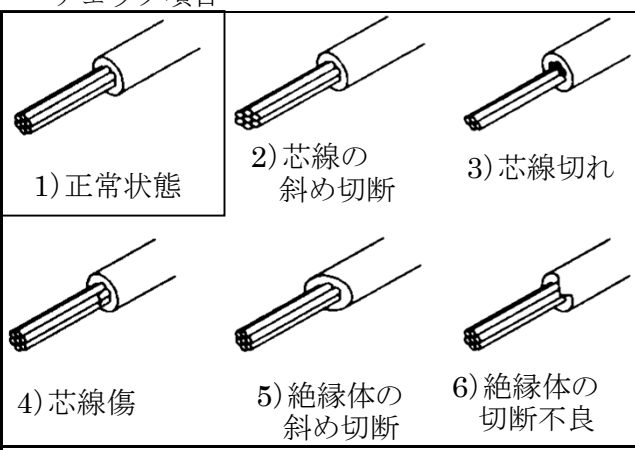
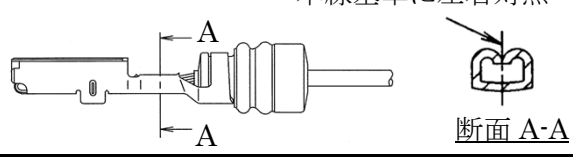
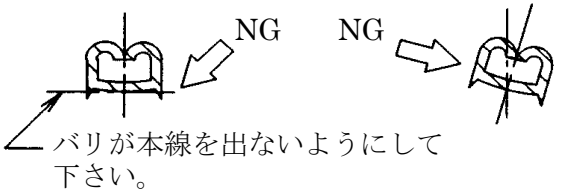
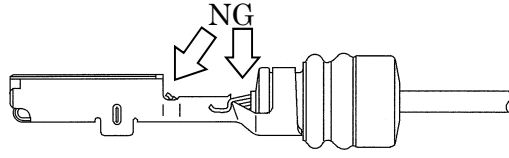
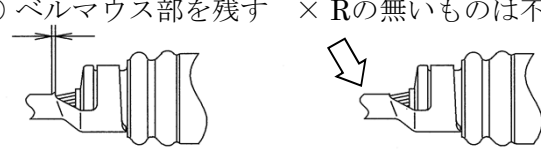
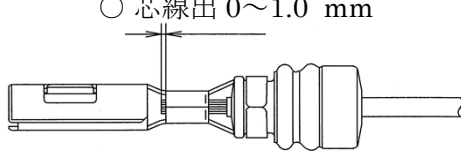


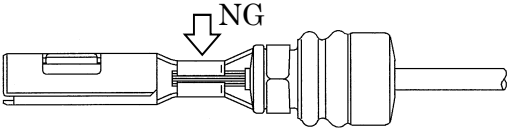
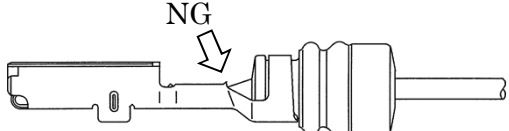
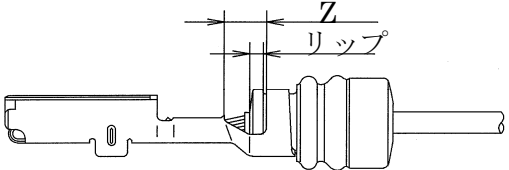
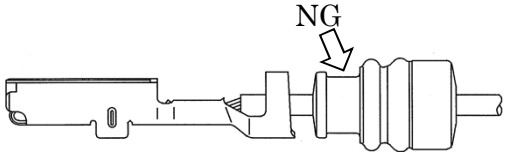
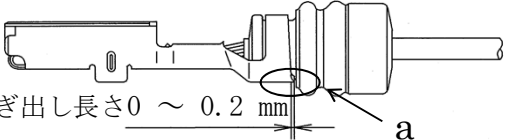
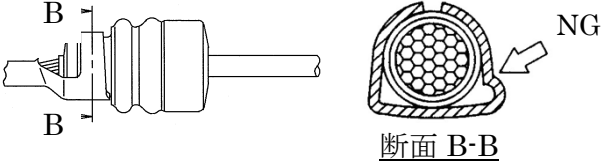
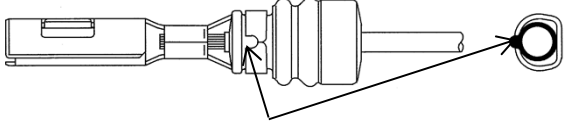
インシュレーションバレル：マイクロメータを用いて、下図のように挟んで測定して下さい。

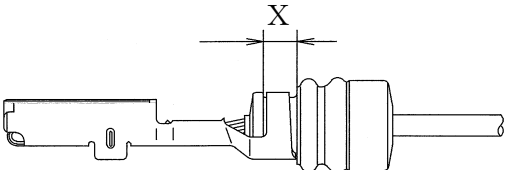
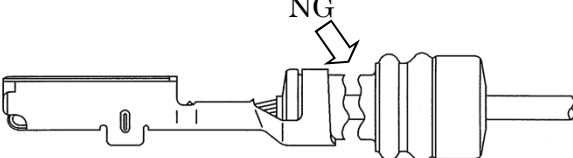
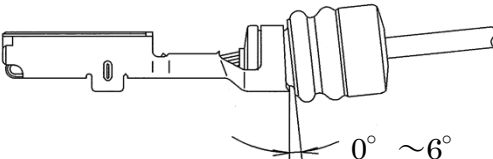


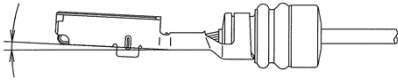
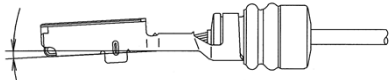
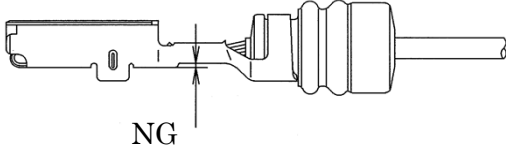
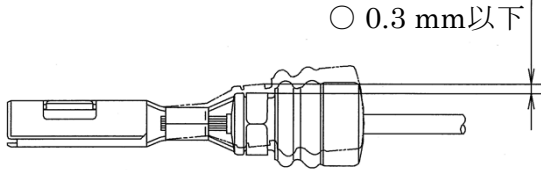
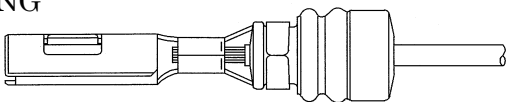
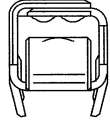
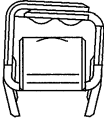
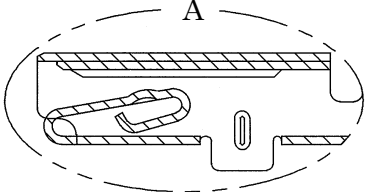
3-3. 端子圧着時の注意事項とチェック項目

- ・ 皮むきした電線は、すぐに圧着作業を行って下さい。
- ・ 移動や保管は、芯線がばらけやすく不良の原因となりやすいので、避けて下さい。
- ・ 変形や損傷した端子は絶対に使用しないで下さい。
- ・ 圧着後は、速やかにハウジングに組付けて下さい。すぐに組付けない場合は、端子部を清潔なビニール袋などで保護して下さい。
- ・ 端子圧着時には、下記の項目を確認して下さい。
- ・ 表内に寸法指示がある項目は、指示寸法内で圧着して下さい。
- ・ 圧着機を新規/変更で使用する場合には、タブ厚・箱部高さの機能に影響する部位を変形させない様注意して下さい。
- ・ また圧着前と後で寸法変化がないことを、寸法測定により確認して下さい。

部位	チェック項目	
1. 電線 (メス)	電線皮むき 1) 正常状態 2) 芯線の斜め切断 3) 芯線切れ 4) 芯線傷 5) 絶縁体の斜め切断 6) 絶縁体の切断不良	 1) 正常状態 2) 芯線の斜め切断 3) 芯線切れ 4) 芯線傷 5) 絶縁体の斜め切断 6) 絶縁体の切断不良
2. ワイヤバレル (メス)	1) 正常圧着状態	 本線基準に左右対照 断面 A-A
	2) バリ及びねじれ	 バリが本線を出ないようにして下さい。
	3) 芯線ほつれ	 芯線がほつれているものは使用できません。
	4) ベルマウス	○ ベルマウス部を残す × Rの無いものは不可 
	5) 芯線飛び出し長さ	○ 芯線出 0～1.0 mm 

部位	チェック項目	
2. ワイヤバレル (メス)	6) すきま	 ワイヤバレルに芯線が見えるような隙間がないことを確認して下さい。
	7) ワイヤバレルによる 絶縁体圧着状態	
3. インシュレーションバレル (メス)	1) 正常圧着状態	 ゴム栓リップが、ワイヤバレルとインシュレーションバレルの間（Z 区間）にあることを確認して下さい。
	2) 被覆圧着不足による ゴム栓落ち	
	3) つなぎ出し長さ	 ○ つなぎ出し長さ $0 \sim 0.2 \text{ mm}$ a 部分が傷付いていないことを確認して下さい。
	4) しわ	 断面 B-B
	5) ゴム栓噛込み	

部位	チェック項目	
3. インシュレーションバレル (メス)	6) ゴム栓の位置	 インシュレーションバレルがX区間にあることを確認して下さい。
	7) ゴム栓の傷、切れ	 傷及び切れがあるものは、使用できません。
	8) ゴム栓の傾き	

部位	チェック項目	
4. 圧着による端子の変形 (メス)	1) ベンドアップ	Max. 1° 
	2) ベンドダウン	Max. 3° 
	3) ワイヤバレルの段付き	 NG
	4) ねじれ	○ 0.3 mm以下  目視でねじれが認められるものは使用できません。
	5) 送り不良	NG 
5. 圧着による端子の変形 (メス)	1) 箱の変形	NG  正常  NG
	2) 右図A部分の変形	 A A部分に変形があるものは使用できません。

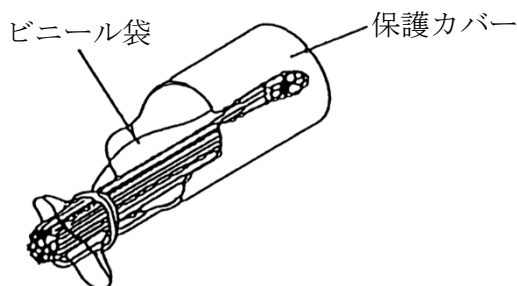
4. 端子圧着済品の取扱い

端子圧着後は速やかにハウジングに組付けて下さい。

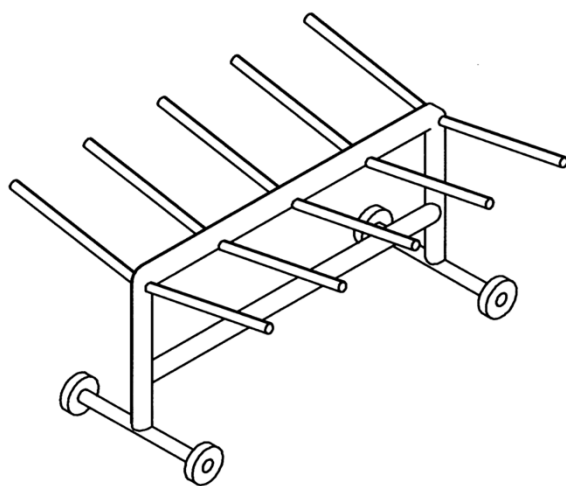
但し運搬・保管の際には、変形や損傷が発生しやすいため、下記項目を守って下さい。

- 端子圧着済品は、ばらばらにならないようにゴムなどで束ねて下さい。
束ね本数が多すぎると、端子同士の引っ掛かりや自重による変形や損傷の発生が考えられますので、一束の本数は100本以下とし、電線・端子サイズに合わせて束ね本数を確認して下さい。
束ねる時に、端子先端を叩いて揃えないで下さい。
- 端子圧着済品にはビニール袋を被せて、埃から保護して下さい。
運搬・保管の際は保護カバーを使用し、ハウジングに組付ける直前までビニール袋・保護カバーを外さないで下さい。
- 運搬は、線架台又は蓋付きのポリケース通い箱にて行い、端子圧着済品を積み重ねしないで下さい。
- 線架台に掛ける際は、端子先端が地面につかないよう留意して下さい。
- 投げ込みや投げ降しは絶対にしないで下さい。

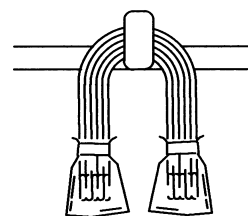
端子圧着済電線の処理例



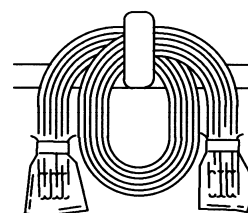
線架台使用例



<線架台>



<短い電線>



<長い電線>

5. 端子組付け

5-1. メス端子組付け

- 1) 端子挿入時に端子に変形や損傷がないことを確認して下さい。
もし変形や損傷があった場合は手直しせず、新しい部品と交換して下さい。
- 2) 下図のように、端子とハウジングの向きを合わせ、必ず端子をハウジングに真っ直ぐ挿入して下さい。
端子に係止する時の係止音を確認して下さい。（図1）
- 3) 電線を軽く引っ張って（引っ張り荷重20N以下）、端子が抜けてこないことを確認して下さい。
- 4) 端子に圧着したゴム栓後端が、ハウジングの後端部より0～2.0mmの範囲内に収まっているか確認して下さい。（図2）

注意事項

- ・断線の原因となりますので、電線はしごいて伸ばさないで下さい。
- ・ゴム栓出代が規格値を外れると、本来のシール性能が保証出来ません。
- ・ゴム栓にホコリの付着及び傷がある場合は、保証出来ません。
- ・端子でシール面に傷を付けてしまうと、本来のシール性能が保証出来ません。

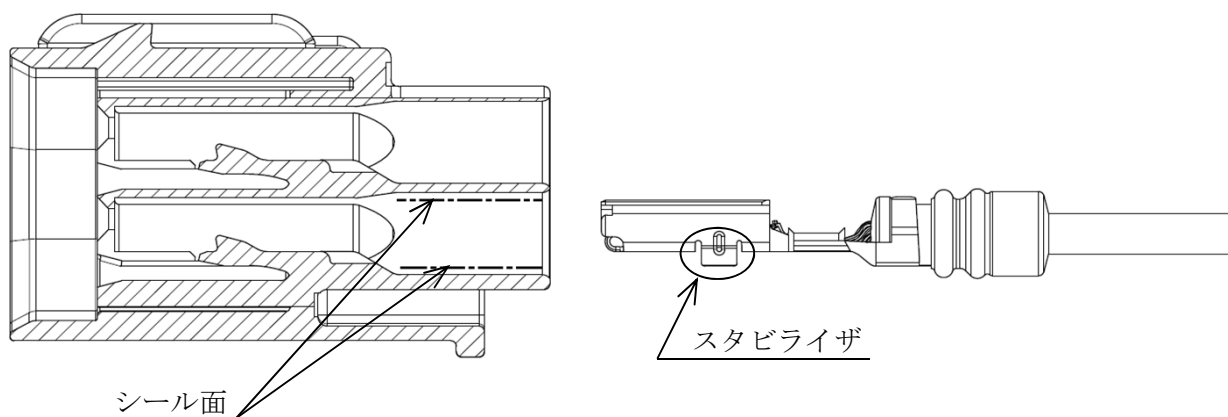


図1

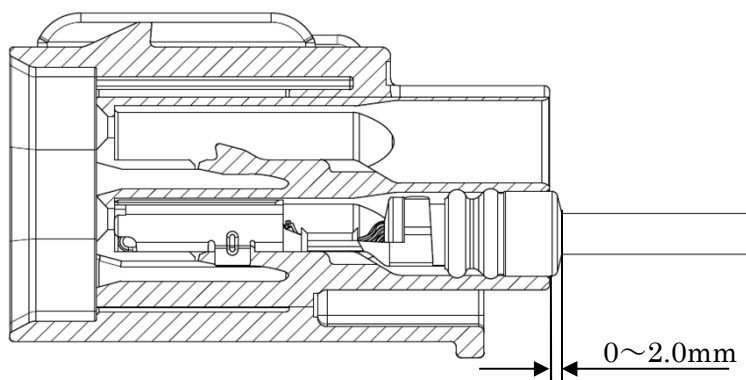


図2

6. ワイヤハーネスの組立て

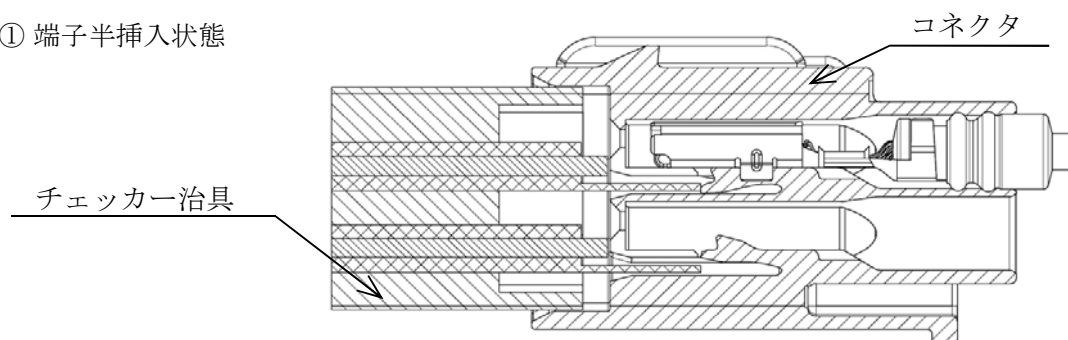
6-1. 端子未挿入検知

- 1) 端子未挿入検知については、目視ではなく本コネクタ専用のチェッカー治具で確認する。

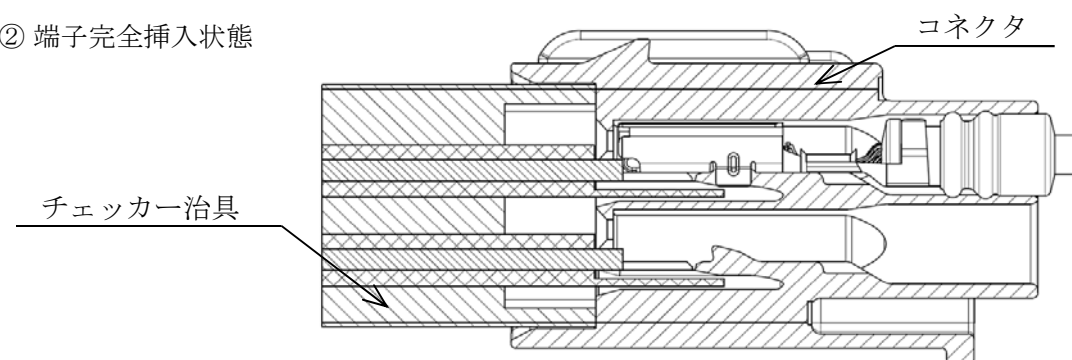
注意事項

- ・ 必ず本コネクタ専用のチェッカー治具で確認する。
- ・ チェッカー治具でシール面を傷つけないようにしてください。
- ・ 部品に変形や損傷がある場合は、その多少に関係なく新しい部品と交換して下さい。

① 端子半挿入状態

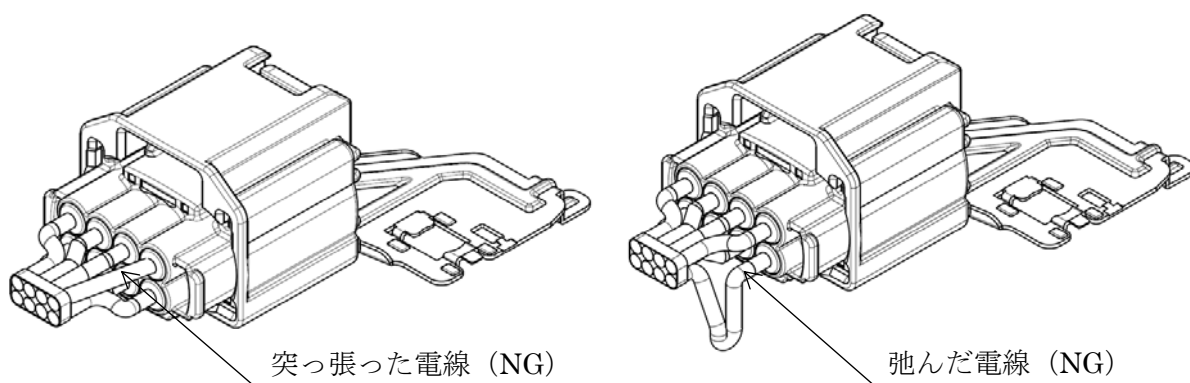


② 端子完全挿入状態



6-2. ワイヤハーネス組立て時の注意事項

- 1) 端子が周りに引っ掛からないよう十分に注意して下さい。
- 2) ゴム栓は、運搬中に破損する恐れがあるため、使用する前にゴム栓に切り傷等がないことを確認して下さい。
- 3) ハウジングに端子を組み付ける際、電線をしごいて伸ばさないで下さい。
(断線の原因になる)
- 4) 全ての電線に均一な引張力がかかるようにテープ巻きを行って下さい。
特定の電線が突っ張るようなテープ巻きにすると、引張力がその電線に集中し、端子抜けなどの悪影響を及ぼします。



7. 端子の取外し

7-1. 端子抜き治具

下記の治具を使用して下さい。（治具購入は、弊社営業担当へ問い合わせ下さい。）

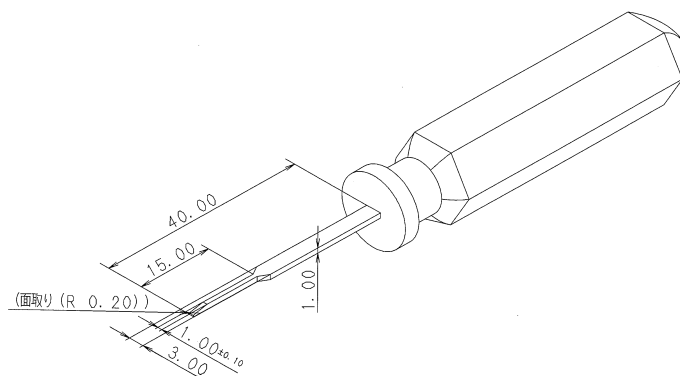


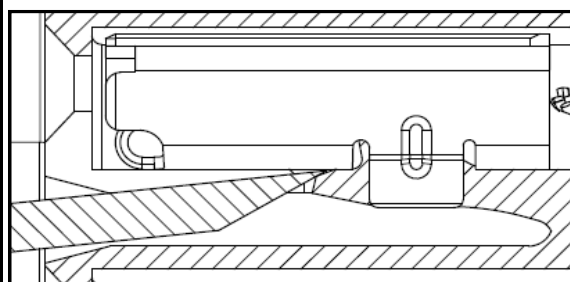
図1.端子抜き治具(49YA000056)

7-2. メス端子取外し

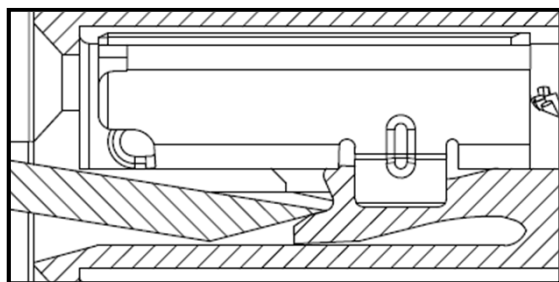
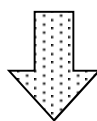
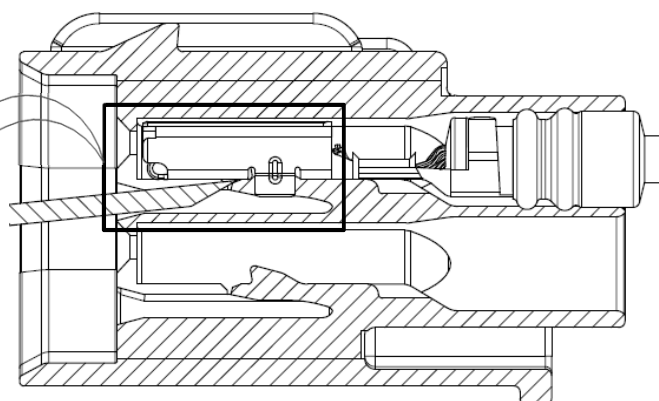
- 1) まず、端子を前に移動させて、下図のような向きで、
抜き治具(23頁 図1参照)をハウジングランスのキーと端子の間に
挿入し、治具でハウジングのランスを押し下げ係止を解除して下さい。
- 2) そのまま、電線を軽く引っ張り端子を抜き取って下さい。

注意事項

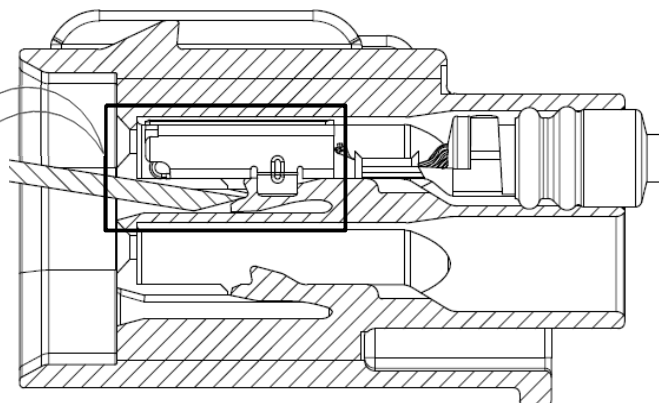
- ・端子取外し操作は教育された作業者によって行って下さい。
十分に教育されていない作業者によって端子抜き作業を行うと、端子やコネクタに
ダメージを与える恐れがあります。
- ・ランスを破損する恐れがあるため、抜き治具は真っ直ぐに挿入し、押し込みすぎない
ように注意して下さい。
- ・電線を軽く引っ張っても端子が抜けない場合は、ランス係止解除作業を
再度行って下さい。
- ・部品に傷を付けてしまった時は、新しい部品と交換して下さい。
- ・端子スタビライザでシール面を傷つけないようにして下さい。
- ・端子抜き治具でシール面を傷つけないようにして下さい。



治具を差し込む



ランス係止を解除する



注意事項 下記作業は行わないで下さい。

- 図4の様に治具を端子内に挿入しないで下さい。
端子バネ部に治具が触れた場合、端子を交換して下さい。
- 図5の様に端子バネ部を支点にして、ランス係止を解除しないで下さい。
端子バネ部に治具が触れた場合、端子を交換して下さい。

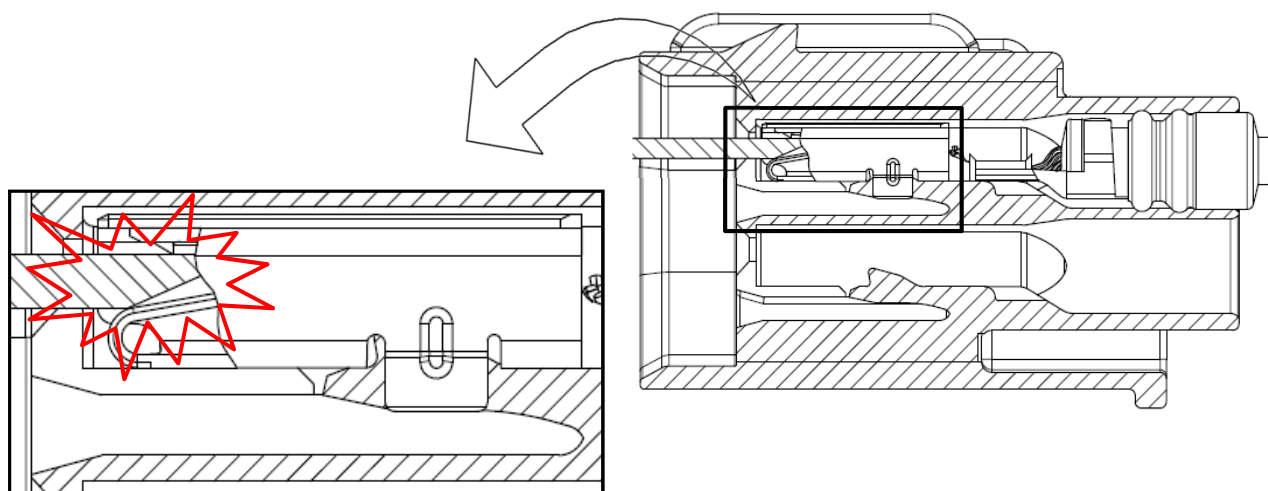


図4

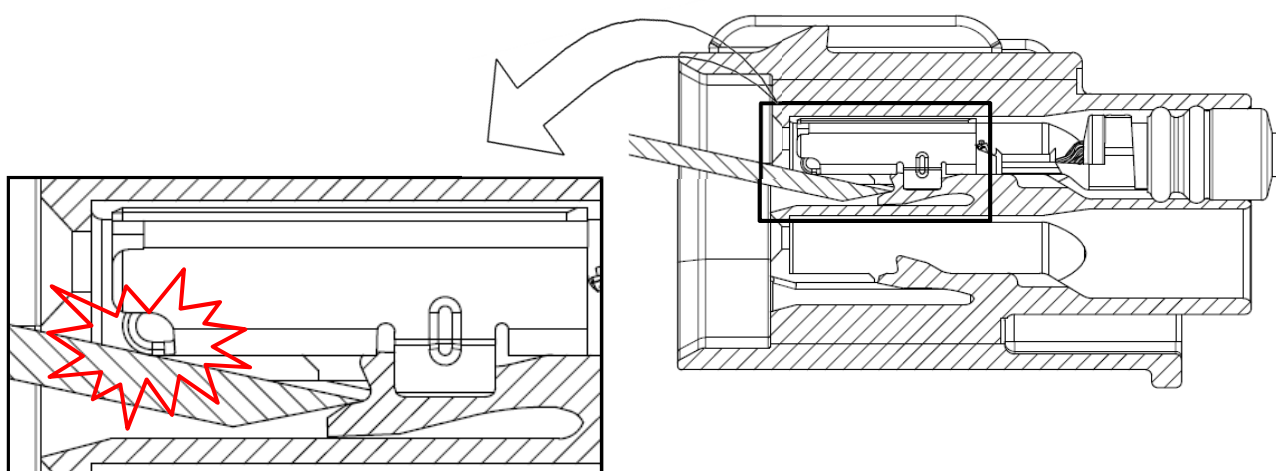
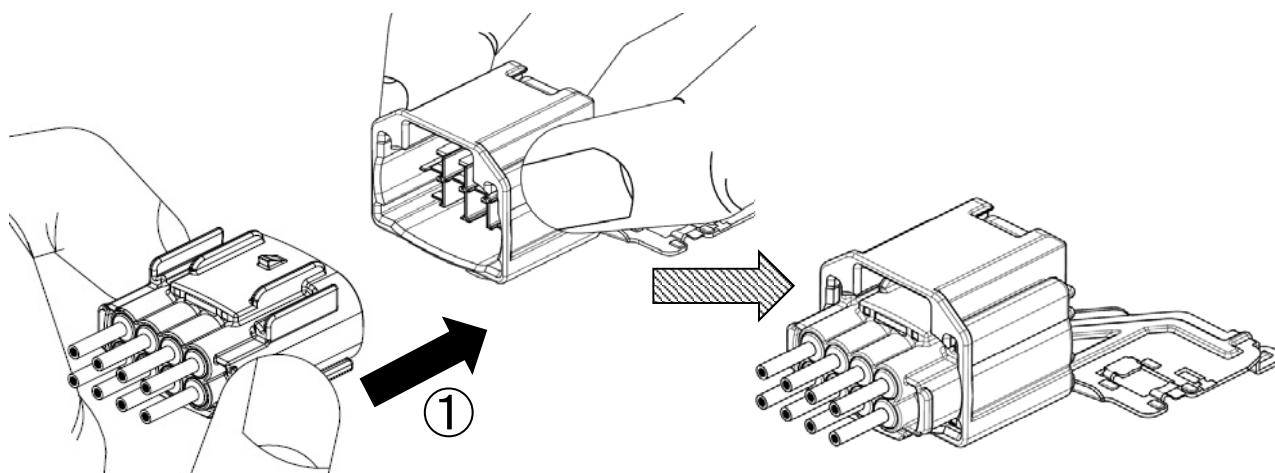


図5

8. コネクタのかん合・離脱

8-1. コネクタのかん合

- 1) メスコネクタ及びJ/Cの側面を持ち、矢印①方向へ真っ直ぐ挿入して係止音がするまでコネクタを押し込んで下さい。



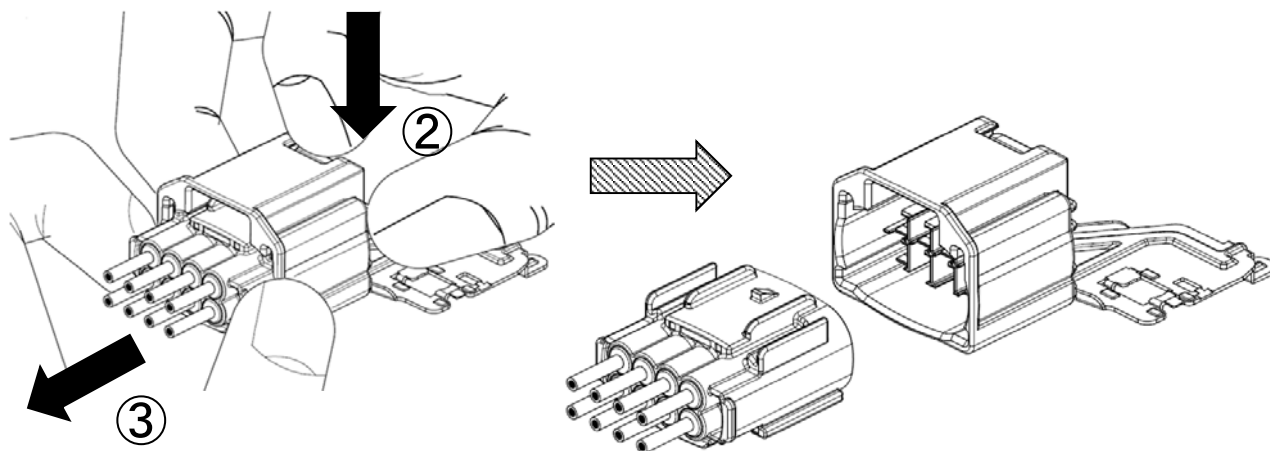
かん合完了状態

注意事項

- ・ J/Cロックキー部を押しながらかん合しないで下さい。
- ・ メスハウジングを強く押し込んでもかん合できない時は方向が正しいか確認して、もう一度挿入して下さい。
- ・ かん合させる際は、コネクタや電線に無理な力を加えないで下さい。タブ曲りやコネクタの変形・破損の原因となります。
- ・ かん合させる際は、バスバーに無理な力を加えないで下さい。バスバーが変形すると、車両への組付けが出来なくなります。
- ・ 部品に傷を付けたり、変形をさせてしまったら、新しい部品と交換して下さい。
- ・ かん合部には、ゴミ、埃等が入らない様に注意して下さい。

8-2. コネクタの離脱

- 1) J/Cロックのキー部を矢印②方向に押して下さい。
- 2) ロックのキー部を矢印②方向に押したままメスハウジングを矢印③方向に引き抜いて下さい。



離脱完了状態

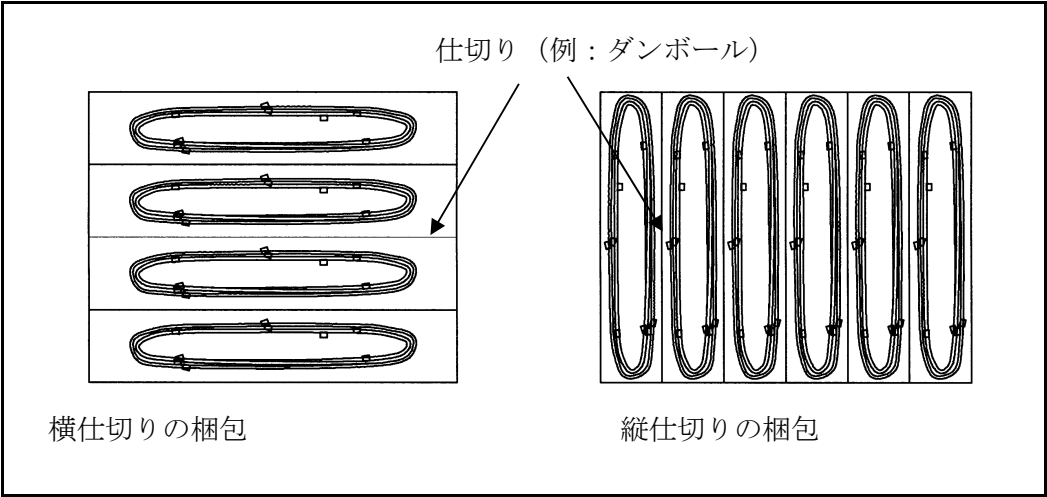
注意事項

- ・ 電線を持って引っ張らないで下さい。

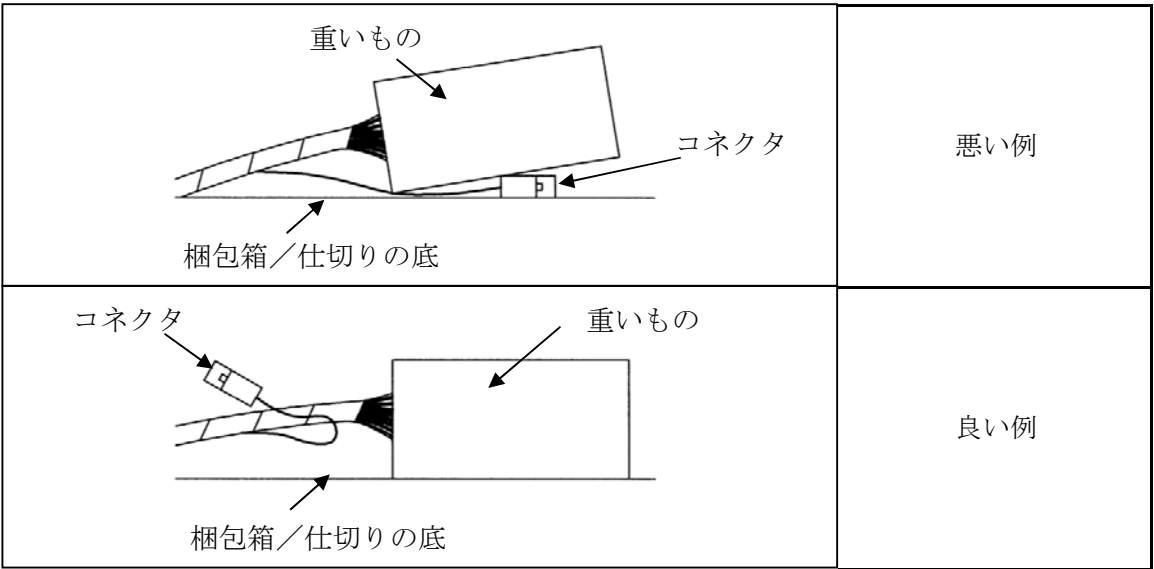
9. ワイヤハーネス梱包時の注意事項

他の多くのプラスチック製品同様、コネクタも運搬や保管中に外力が加わると変形・損傷する可能性があります。
コネクタの変形や損傷を防ぐために、以下の指示に従って下さい。

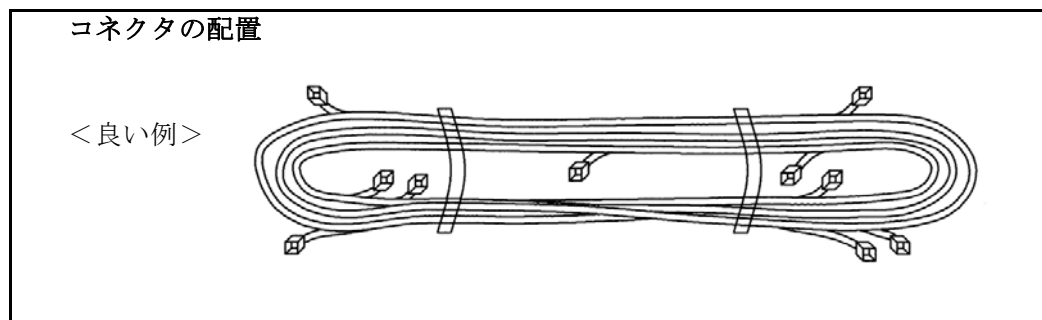
- 1) ワイヤハーネスの梱包形態が多層となる場合、各ワイヤハーネスの荷重が他のワイヤハーネスのコネクタを変形・損傷させることがあります。
下図のように、各層毎にダンボールの縦・横仕切りや内部支えを使用し、荷重を均一にしてコネクタの変形や損傷を防いで下さい。



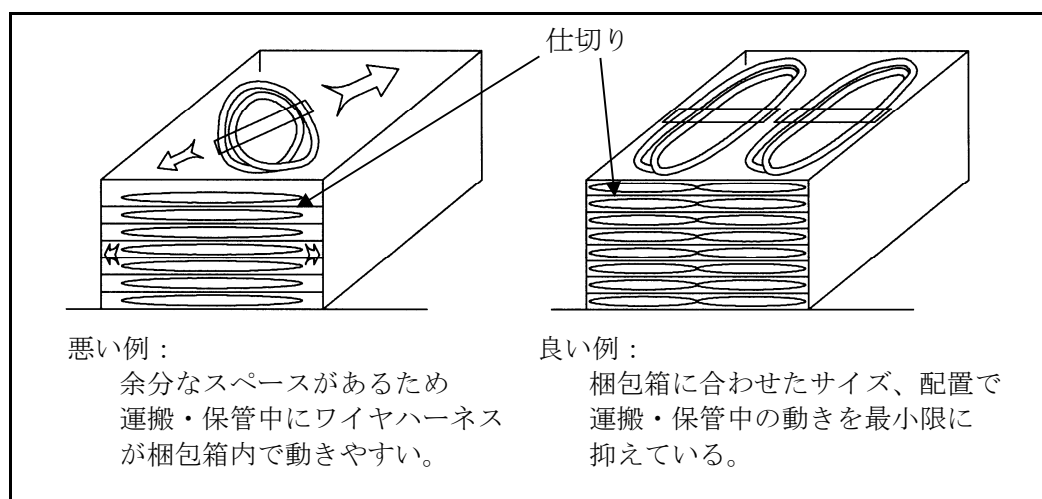
- 2) ジャンクションブロック、リレーボックス、プロテクター、ブラケットのような重いものや大きなものは、これらの部品の重量がコネクタに加わらないように、梱包箱や仕切りの底に配置して下さい。



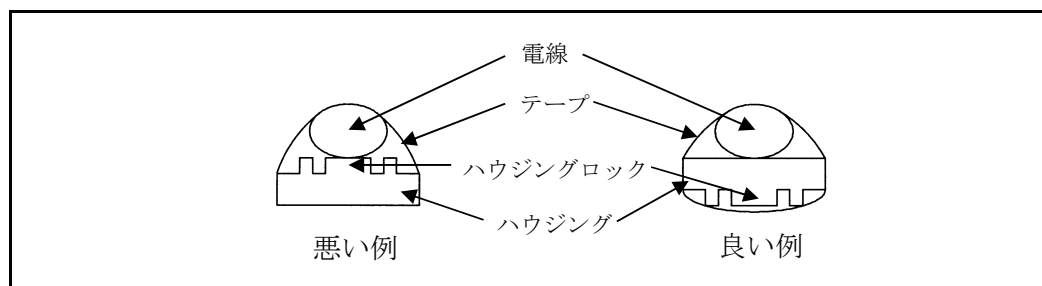
- 3) ワイヤハーネスの重量がかからないように、コネクタはワイヤハーネス束の外側か内側へ配置して下さい。



- 4) 運搬・保管中にワイヤハーネスが動かないように、梱包箱に合うサイズで束ねて下さい。



- 5) コネクタをワイヤハーネスにテープ止めする場合は、ハウジングロックや他の弾性部に電線束が当たらないような配置として下さい。



- 6) 車載のために梱包箱からワイヤハーネスを取り出す際は、ワイヤハーネスの絡みに注意し、コネクタの変形や損傷を防いで下さい。
- 7) 運搬・保管後には、コネクタに変形や損傷がないか確認して下さい。
- 8) 塵芥、雨水等を防止し、丁寧に扱う様にお願いします。

10. ボディとの組付け

10-1. ボディとの組付け

- 1) コネクタをボディに対して水平に組付けて下さい。
- 2) 組付ける際、ボディとコネクタの向き及び穴位置を確認して組付けて下さい。
- 3) 組付け後は、バスバー部がボディ等取付け面から浮いていない事を確認して下さい。

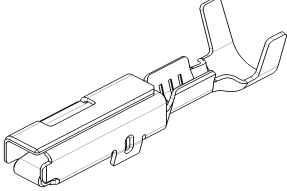
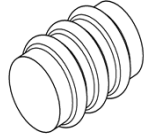
注意事項

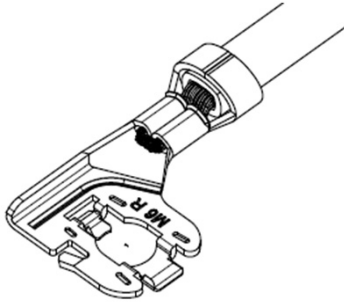
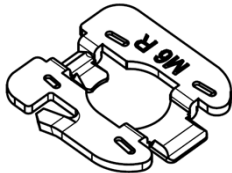
- ・ ボディへの組付けの際、バスバー部を曲げない様に注意して下さい。
- ・ コネクタの取扱いに注意し、バスバーを変形させたり、傷を付けないで下さい。
また、バスバーに変形や傷付きがあるコネクタは使用しないで下さい。
- ・ かん合部には、ゴミ、埃等が入らない様に注意して下さい。

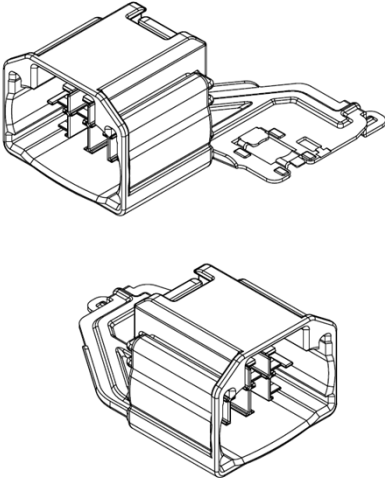
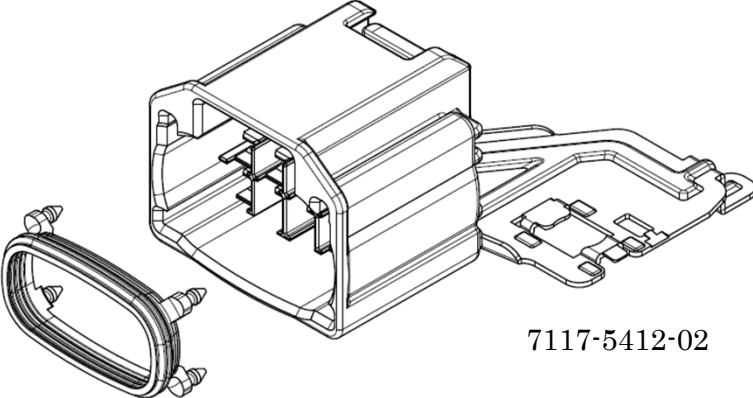
10-2. 推奨ネジ及び締めトルク値

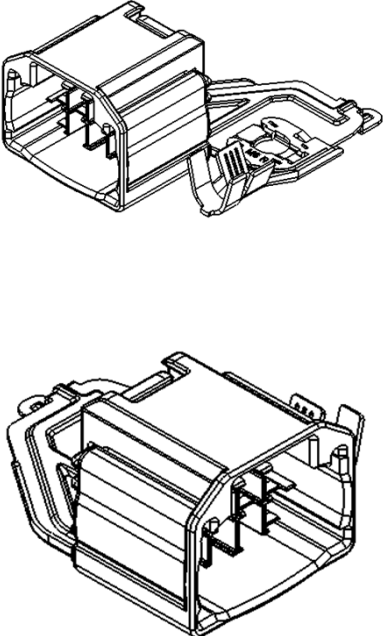
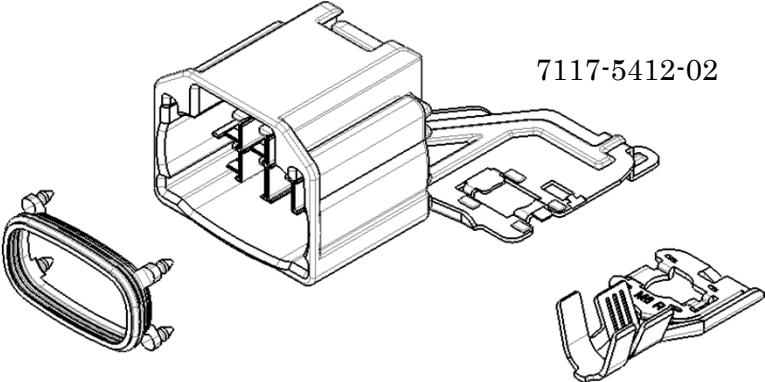
- 1) 本製品に使用する締結部品、及び、締付けトルクは、使用条件に応じて軸力計算、
有効ねじ部係り代等の確認を行い(関係部署間にて協議)、適切なものに設定して下さい。

◎構成部品一覧表

矢崎品番	矢崎品名	形状	材料 (表面処理・色)	適用電線サイズ	備考
7116-5044-02	2.3Ⅱ SEALED TERMINAL FEMALE (LOW INSERTION FORCE TYPE)		銅合金 (錫めっき)	CPEX 0.22~HFSS 0.5 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ1.45~Φ1.7)	
7116-5045-02			銅合金 (錫めっき)	CHFUS 0.75~HFSS 1.25 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ1.4~Φ2.3)	
7116-5046-02			銅合金 (錫めっき)	HFSS 2 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ2.55~Φ2.8)	
7116-5037-02			銅合金 (錫めっき)	CHFS 1.5~HFSS 2 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ2.0~Φ2.8)	
7158-3003-90	2.3Ⅱ 5mm pitch RUBBER STOPPER (S SIZE)		高速加硫 シリコンゴム (青色)	CPEX 0.22~CHFUS 1.25 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ1.45~Φ2.0)	
7158-3004-40	2.3Ⅱ 5mm pitch RUBBER STOPPER (M SIZE)		高速加硫 シリコンゴム (灰色)	HFSS 1.0~HFSS 1.5 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ1.95~Φ2.4)	
7158-3005-80	2.3Ⅱ 5mm pitch RUBBER STOPPER (L SIZE)		高速加硫 シリコンゴム (茶色)	HFSS 2 EQUIVALENT (NOMINAL DIAMETER OF FINISHED CABLE) (Φ2.55~Φ2.8)	
7157-3382-80	2.3Ⅱ 5mm PITCH SEALED PLUGGING RUBBER STOPPER		高速加硫 シリコンゴム (茶色)	—————	住友 電装 (株)殿 製

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用 穴径	仕様		材質	適用電線サイズ	備考
7009-2280-02 EARTH TERMINAL (R)		M6	R側	インデント 有り (易解体 アース端 子)	黄銅 (Snメッキ)	0.5～1.0sq	
7009-2281-02 EARTH TERMINAL (R)					黄銅 (Snメッキ)	1.05～2.0sq	
7009-2282-02 EARTH TERMINAL (R)					黄銅 (Snメッキ)	2.05～3.0sq	
7009-2283-02 EARTH TERMINAL (R)					黄銅 (Snメッキ)	3.05～5.0sq	
7009-2284-02 EARTH TERMINAL (R)					黄銅 (Snメッキ)	5.05～8.0sq	
7009-5800-02 DUMMY TERMIAL				インデント 有り (ダミー端 子)	黄銅 (Snメッキ)		

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	構成部品 (品番及び形状)
7388-2978-30 2.3 II 8P SEALED JOINT HOUSING MALE SUB ASSEMBLY かん合相手品番:7189-2978-30		7288-2978-30  7117-5412-02 7137-2988-80

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	構成部品 (品番及び形状)
7388-3444-30 2.3Ⅱ 8P SEALED JOINT HOUSING MALE SUB ASSEMBLY かん合相手品番:7189-2978-30		7288-2978-30 7117-5412-02  7137-2988-80 7009-2280-02ETC.

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	構成部品 (品番及び形状)
7189-2978-30 2.3 II 8P SEALED JOINT HOUSING FEMALE かん合相手品番: 7388-2978-30	